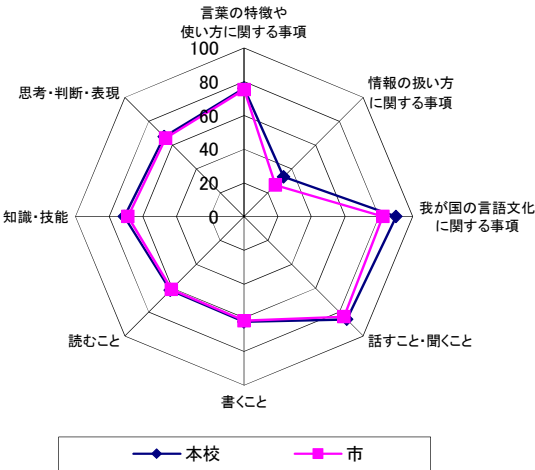


宇都宮市立錦小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方にに関する事項	76.1	75.3	77.1
	情報の扱い方にに関する事項	33.3	26.5	27.8
	我が国の言語文化にに関する事項	90.2	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	86.3	83.9	84.2
	書くこと	62.4	61.7	64.5
	読むこと	61.8	60.9	61.0
観点別	知識・技能	71.0	68.8	70.3
	思考・判断・表現	66.9	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方にに関する事項	・平均正答率は76.1%で、市の平均を0.8ポイント上回った。 ○漢字の読みについては、正答率が90%を超えており、概ね身に付いているといえる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字ドリルやプリントなどを活用しながら、全学年までの漢字も含めて反復練習を行い、自主学習などで復習するよう指導する。 ・文脈に沿った漢字を適切に使うことができるよう、語句の意味調べを積極的に取り入れ、意味を理解したうえで漢字を使うようにしていきたい。
情報の扱い方 にに関する事項	・平均正答率は33.3%で、市の平均を6.8ポイント上回った。 ○「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている」については、市の平均を9.3ポイント上回ったが、正答率が45.1%と低かった。	・写真やグラフ、表などの情報を基に、自分の考えを述べながら文章を書くことは、国語だけではなく、他の教科でも取り入れていきたい。情報を整理しながら必要な情報を活用し、自分の考えを広げられるようにしていきたい。
我が国の言語文化 にに関する事項	・平均正答率は90.2%で、市の平均を7.8ポイント上回った。 ○「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」については、正答率が90%を超えており、概ね身に付いているといえる。	・漢字の成り立ちや意味などを自主的に調べることができるよう、自主学習で取り組む内容として取り上げるなど、漢字を書いたり読んだりするだけでなく、興味をもって学習に取り組めるようにしていきたい。
話すこと・聞くこと	・平均正答率は86.3%で、市の平均を2.4ポイント上回った。 ○「意図に応じて、質問を工夫している」については、正答率が90%を超えており、概ね身に付いていると言える。 ○「話の内容を捉えている」については、正答率が88.2%と市の平均を4.4ポイント上回った。	・教室に掲示している「話し方や聞き方」を再度確認し、他の人へ話すとき、話を聞くときの基本的な態度を繰り返し指導していきたい。 ・学級活動などの時間にも「話し方や聞き方」の掲示物を活用し、話題に対してお互いの立場を明確にしながら計画的に話し合えるようにしていく。
書くこと	・平均正答率は62.4%で、市の平均を0.7ポイント上回った。 ○「目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している」については、正答率が84.3%と市の平均を11.8ポイント上回っている。 ●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く問題では、正答率が58.8%と市の平均を8ポイント下回った。また、指定された長さで文章を書く問題では、市の平均を4.8ポイント下回った。	・どの授業でも自分の考えなどを文章で表す際に、書く前には構成メモを作成したり自分の書きたいことを整理したりするなど、筋道を立てて表現できるよう、指導を行っていく。 ・文章を書くことに対して苦手意識をもっている児童がいるので、普段から自分の考えを表現する機会を多くしていき、読み手を意識した文が書けるようにしていきたい。また、文を書くだけでなく、括弧の使い方や段落頭の1文字空けなど、文を書くときのきまりについても繰り返し指導していく。
読むこと	・平均正答率は61.8%で、市の平均を0.9ポイント上回った。 ○「登場人物の心情について、描写を基に捉えている」については、正答率が84.3%と市の平均を3.1ポイント上回っている。 ●文章を読んで自分の考えを広げる問題では、正答率が74.5%で6.3ポイント下回った。	・物語において、登場人物の心情の変化や場面の移り変わりなどを適切に捉えられるよう、気持ちや時を表す言葉などに着目できるように指導する。 ・朝の学習の時間や国語の授業において並行読書を取り入れるなど、本校の特色である読書活動に力を入れ、普段から本に親しむことができるようにしていきたい。